

東京教区時報

第1178号
2010年9月19日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇9月の代禱・信施奉献先
▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽聖公会野宿者支援活動・渋谷の働きのため▽心臓病児保育活動のため

《奉献先から》

心臓病のこどもの集い

こぼと園は1976年、心臓病児の幼稚園や保育園への受け入れが難しかった頃に、大切な幼児期を豊かに過ごさせたい、と願う親たちで発足しました。毎週、火曜日と金曜日に浅草聖ヨハネ教会のホールを開放して頂き、毎年10名以上になる園児たちは、現在6名の保育士と共に、自由遊びや、その日のテーマの遊びを行っています。今後、子どもたちが大らかにまた

親同士も、同じ境遇ゆえの想いを語り合い、心穏やかになれる場所として存続できるよう、運営スタッフ&保育士一同努めて参りたいと思います。

(副代表 鈴木真理子)

◆とこしえの平安

7月26日 奥村 宜彦(90)

聖パウロ

7月27日 法用 修(83)

聖ペテロ

8月20日 大栗 英彦(79) 聖愛
8月24日 佐々木信雄(85) 聖アンデレ
9月3日 元城 隆(71)
9月11日 佐久間 浩(79) 聖パウロ

「休刊のお知らせ」 小紙26日発行号は休刊(10月3日号から復刊)。

今週・来週の予定
9月19日～10月2日

- 19(日) 聖霊降臨後 第17主日
外濠G教会協議会
山手G教会協議会
環状G教会協議会
- 20(月・休) 教区フェスティバル
- 24(金) 正義と平和協議会
運営委員会
- 26(日) 聖霊降臨後 第18主日
下町G教会協議会
城南G教会協議会
- 27(月) ハラスメント防止委員会
- 28(火) 銀座朝拝会
- 29(水) 信仰と生活委員会
- 30(木) 教役者会

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

明日、2010フェスティバルが行われます。準備のスタートも遅れ、それに加えて記録的な猛暑・酷暑のなか、不慣れで、不器用な実行委員長を支えてくださりながら、実行委員の方たちの賢明なご努力でその時を迎える準備が万端整えられてきました。すべては主のみ手のなかに導かれている、という思いを強く感じながら、とりわけ植田教区主教の在任中最後の聖餐式に与る機会として、感慨深いものがあります。

《み手のなかで》

あつまれ、

司祭 田 光 信 幸

10年という歳月は、長くもあり、短くもあり、その時その時の出来事に一喜一憂した思い出とともに、いくつかの積み重ねの中に、思いもよらない恵みに富んだ喜びが示されていることを感じることも少なくはありません。

教会の交わりと宣教は、主を信じて、心も思いも一つにして結ばれながら、神の恵みへの深い感謝によって強められるものであるように思います。

「あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい」という思いが、ともに祈り、ともに相会う、その中で一人ひとりの深い喜びとなることを願って、ともに集ま

ましよう！
(聖マーガレット教会牧師)

退任ご挨拶

東京教区主教 主教植田仁太郎

この度、日本聖公会の定めによる定年退職の時期より、半年ほど早く、教区主教を退任させて頂いたことになりました。昨年からは二回ほど、会議中に倒れ、緊急入院する事態となり、みな様に心配をおかけすることになってしまいました。検査の結果、決定的な病因は確定できないようですが、全般的には高血圧症と加齢による一過性の血栓が見られるようです。血圧を上げることがないようにするのが、第一の注意点のようです。血圧・血管のための数種の薬を服用しております。

間に、主教職が負うべき身体的・精神的持久力と集中力が大幅に欠けてきてしまったことを、大変恐ろしいことであると自覚するに至りました。年初以来、近くで私の仕事を補って下さった方々も、同じ観察をしていらつしやるでしょう。後任教区主教が着座されるまで、みな様には、いづれにしてもご迷惑をおかけすることになりませんが、しばらく、管理主教の任をお引き受け下さる廣田北関東教区主教のもとで、通常の教区・教会の営みを続けていただきたく望み、また祈るものです。

す。主教職をになう者として誠に不十分な私を許し、励まし、ご理解下さった方々みな様に御礼申し上げます。

退任後の新たな生活を整え、健康への心配が減りました暁には、再び日本聖公会の一隅で、何かお手伝いできることがあれば、と念じております。教区・教会でのみな様の変わらぬご奉仕に感謝しつつ、また私をお用い下さった皆さまへの深い悔改めと感謝をもって…。

9月4日、聖アンデレ主教座聖堂で3百人を超える参列者の臨証のもと司祭按手、感謝のときを…

◇司祭職に叙任されて

司祭 大森明彦：あふれるばかりの人々に見守られながら、

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

《皆が一人のために、一人が皆のために》 「障がい者」関連活動連絡会主催の恒例キャンプで、往復貸し切りバス利用(現地集合も可)。10月10日(日)11日(月)国立女性教育会館(武蔵嵐山)で。参加費¥3千円(バス往復・宿泊・2日目昼食代含む)。申込期限¥3日(日)。申込・照会¥03(3326)9229・半田。

区)。①天地創造物語から既報終了②アブラハム・イサク物語から10月2日(土)14時半③ヤコブ・ヨセフ物語から16日(土)14時半。受講料¥3回2千円、1回8百円。申込・会場等照会¥047(354)2516・同伝道所。

▽JOCs(日本キリスト教海外医療協力会)50周年記念リトリート バングラデシュのテゼ共同体の修道士ブラザー・フランクを迎えて9日(土)10時15時半、池袋聖公会で黙想会を行う。軽い昼食を用意。照会と申込¥03(3208)2416・JOCs東京事務局。

《今、この教会では…》

葛飾茨十字教会
当教会は東京教区の東北の端に位置し、併設する葛飾学園を覚えながら、又、他教会の働きを受けとめながら、毎主日の礼拝をコツコツと守り、祈りを捧げています。

過日、6月26日には教区のオルガニスト研修会が当教会で行われることになり、オルガンの調律もして張りきって皆さまをお迎えしました。日頃の毎主日の礼拝後は、皆でお茶を共にして、様々な雑談に花が咲き、ひとつの家族のような豊かなひとときになります。8月29日には、静岡県内の聖ペテロ教会の鰻を取り寄せ「納涼昼食会」でも楽しみました。(広瀬英子)

2010フェスティバル 《あつまれ!》

あす9月20日(月・休)10時半・立教女学院(雨天も開催)

▽聖オルバン教会アルファ・コース 22日(水)から毎週水曜日夜、世界各国で実施されているキリスト教入門講座を日英両国語で。照会☎03(3431)8534・同教会J・ストーゼンバック聖職候補生または教会オフィス宛(平日9〜17時)。

▽五本木九条の会《憲法を学ぶ》「グラウンドゼロから、九条へ(ヒロシマ)を問う旅から」講師||天野文子。22日(水)18時半、聖パウロ教会。照会☎090(8747)2153・同事務局。

▽一羊会集まり(人権を守るための対話)「死刑をなぜいけな-と-と思うのか」死刑制度廃止に取り組む矯風会副会長・川野安子の話。25日(土)13時半、聖バル

ナバ教会。照会☎042(393)2256・森田。

▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂オルガンレクチャーコンサート「大きなオルガン 小さなオルガン」『Organ Duo-2台のオルガンのための音楽』25日(土)14時(13時半開場)。出演||菅哲也・岩崎真実子。入場料||2千円(全席自由)就学前のお子様の入場は不可。照会☎03(5370)3038・同院キリスト教センター(月火木金・9時半〜16時)。

▽日韓併合100年(在日から考える)「関東二教区生野委員會」主催・尹健次講演会。26日(日)15時(14時半開場)。立教大学池袋キャンパス太刀川記念館3階ホール。整理券500円(当

日600円)。照会☎048(471)6638・香山洋人司祭。

▽清瀬聖母教会創立61周年記念ハンセン病者とともに生きたコンウォール・リー女史展 10月1日(金)〜3日(日)講演会 3日(日)14時「聖バルナバミッションとリー女史の働きから学ぶもの」講師・菊池邦香ほか、無料(会場献金)。照会☎0424(93)7472・同教会。

▽遠足に行こう! 日曜学校連絡会主催の合同遠足を国営昭和記念公園で。10月2日(土)11時〜15時。日曜学校担当者または保護者同伴。照会||教会・礼拝堂教役者、日曜学校担当者。

▽2010ふれあいキャンペーン

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

司祭按手の恵みを与えられました。長い人々の列、喜びで一杯の笑顔、涙にうるんだ目、安堵の顔、嬉しそうな子どもさんの笑顔、一人ひとりの顔を見つめながら、こんなに大勢の人々に私の歩みは支えられてきた、そう思うと喜びと感動がこみ上げてきます。「あなたのために与えられた主イエス・キリストの体」初めて口にするその言葉は言葉になっていたのでしょいか。加えて、私には思いがけない喜びの再会がありました。森紀旦主教が私の名親であることを教区で調べてくださり、森主教が按手式にご臨席くださることを前日のリハーサルの時に知りました。教区の皆さまのご配慮に

心から感謝します。そして当日、ご健在の3人の名親になつてくださった人たちが初めて顔をあわせることができました。神様、ほんとうにありがとうございます! 9月5日から司祭としての新たな歩みが始まりました。これからもよろしく願います。

(八王子復活教会副牧師)

司祭 中村 淳:40代なかばで聖職志願させていただいてから7年半、家族や皆さんを巻き込みながら過ごしてきました。その間のお祈りとお支えに改めて感謝します。

今私にはこれまでの日々を振り返り、これからの日々を想い巡らす事と「私が司祭で良いのか」という戸惑いがあります。

司祭職には多くの側面がありま

す。教師として、牧者として、祭司として、仕える者として、組織においてリーダーシップを取るものとして…。これらをすべて担うことなど私の力では到底不可能です。私の戸惑いには「良いのか」ではなく「出来るのか」という問いが隠されています。しかし、この7年半の中で感じてきた、神さまの前にへりくだること、み言葉通りになりますようにと祈ること、このことを通じて、私は戸惑いに留まらずにパワーを与えられていくことを感じています。

毎日聖書に祈り、礼拝を捧げる中で、パワー、モチベーションが与えられる、このことを確信し、日々の業を行っていきたく願っています。

(東京聖マルチン教会副牧師)

【クローズアップ】 57

広島平和礼拝に参加して

今回、母と子ども2人と初めて広島に行きました。今回参加したのは、65年前に起こった戦争について、身をもって知りたかった事と、子どもに、平和について考える機会を与えたいと思ったからです。

8月5日、原爆資料館から、平和礼拝のプログラムは始まりました。ガイドをしてくれたのは、地元の高校生でした。始めに、ここは広島が原爆を受け、こんなにひどい惨状になったと、被害者の立場から作られたのではなく、戦争はひどく、むごい現実が起こり得るといふ事実が分かる場所です。と説明が

ありました。館内にはたくさん外国の方も見学をしていて、広島はその役目を果たしているのだなと思いました。

館内を回り、中には目を覆いたくなるような写真や資料がたくさんありました。真っ黒にこげたお弁当、ボロボロになった学生服、ドロドロに溶けた三輪車、原爆投下時に止まった時計など、忘れる事ができません。

外に出ると、クラクラするような猛暑でした。息子が、「これよりもっと暑くて、熱風も吹いていたなんて、想像できない辛さだったんだろね」と言ったの聞き、子どもなりに資料館で見た事実と、今の現実を結びあわせているのだと感じました。

その後、平和公園内での碑巡

り、広島復活教会での分かち合い、平和行進、カトリック教会での平和礼拝を行いました。

翌6日朝、平和記念公園に行き、宗教の違う方たちと慰霊行事を行いました。宗教を超え平和を願っている姿に感動しました。愛をもって平和を願っていく姿から、子どもたちの未来が、神様の愛に満ちた世界であるようにと、願わずにはいられません。

戦争を起こすのは人間ですが、平和を作りだせるのも人間です。世界中から核兵器がなくなり、平和な世界であるように、祈り、信じ、これからも神様と共に歩んでいきたいと思います。

東京聖十字教会信徒

折居麗子

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】 58

よる☆プロ

8月8日から9日までCrew Of the Ark (通称コア)で夏のキャンプに総勢20人弱で行ってきました。今年のテーマは「よる☆プロ」です。行ってきましたと言ってもいつものコアのキャンプとは違い、部活などで忙しい人も、いままでコアに来たことのない人も気軽に参加できるようにと、今年は1泊2日の夕方から清瀬聖母教会でスタートのプログラムでした。コアの普段のイベントは夕方には絶対に解散しているのに、夕方になってから参加者を駅に迎えに行くのがとても不思議な感覚でした。

集合場所からそのまま班ごと

に買い出しに向かい、みんな夕飯の餃子作りをしました。

「餃子」であれば、中身はなんでもOK!という事で魚を使った餃子やチーズたっぷりの餃子などちよつと変わった餃子なども出現しましたが、どれもとてもおいしかったです。夜はみんな花火です。普段自分たちだけではできないような「ナイアガラ」カメラを使って花火で文字を書くのに挑戦してみたり

、そして江の島へ出発!バスの中ではみんなでしりとりなどをして遊びました。今回のメインプログラムは江ノ島で日の出を見る!のはずでしたが、あいくの雨で外に出ることはできませんでした。ですが、バスの中からも景色はとても綺麗で

した。残念ながら日の出は見られませんでした。みんなで一晩ぐすとという経験は普段の生活ではなかなか得ることのできないものだったと思います。スタッフが少なく、なかなか思うように活動ができません。

ですが、今回の参加者の中で去年初参加だった中高生の顔をまたみる事ができ、私たちの思いが中高生に届いているのだなと思うことができました。今回が初参加、リピーター関係なく中高生が楽しそうにしてくれていた顔を見て、まだコアに参加したことの無い中高生にもこの楽しさが伝わるよう、また何かイベントができるといいなと思えました。

COA代表 新田紗世